

## 会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回高崎学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年10月1日（火）開会 13:30 閉会 15:30		
開催場所		つくば市立荃崎第一小学校 図工室2		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	岡田 克司、岡田 良一、長谷川 清恵、勝又 みゆき、 石川 隆、田中 雄輝、渡辺 峰子 高崎中学校：校長 井橋 憲一、教頭 木村 文彦 教務主任 古國 芳彦 荃崎第一小学校：校長 小澤 光幸 教務主任 千葉 直樹		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 課長：澤頭 由紀子 教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 係長：飯島 遊 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「地域とともに高崎学園が児童・生徒に身に付けさせたい力について～地域学校協働活動を進めるために～」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1	開会		
	2	挨拶		
	3	授業参観		
	4	前回の議事の確認		
	5	協議：熟議「地域とともに高崎学園が児童・生徒に身に付けさせたい力について～地域学校協働活動を進めるために～」		
	6	その他 ・諸連絡		
	7	閉会		

<審議内容>

1 開会

岡田座長：令和6年度第2回高崎学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。会議を進行するにあたり書記を高崎学園の千葉委員にお願いします。  
→承認

2 挨拶

岡田座長：本日の推進会議が有意義なものになるよう、さまざまな意見を出して、活発な交流ができると幸いです。  
小澤委員：授業参観を通して、本日のテーマ「児童生徒に身に付けさせたい力」の協議につなげていただければと思います。

3 授業参観

4 前回の議事録の確認

5 協議

【熟議】「地域とともに高崎学園が児童・生徒に身に付けさせたい力について～地域学校協働活動を進めるために～」

- (1) グループごとに話し合う。(模造紙にまとめる)
- (2) 情報共有及び意見交換

40分間協議(①学園ランドデザインを目指す児童生徒像における児童生徒の現状について、②地域との関わりにおける学校・地域の課題、③地域と学校が協働して活動するための具体的なアイデアについて)

話し合い後、グループごとに発表

Aグループ(古國委員発表)

- ・児童一人一人が生き生きと授業を受けていた。
- ・地域の課題として、高齢化による世代交代が挙げられる。
- ・学校の課題として、職場体験等の学校行事を実施する際、青年会議所やロータリークラブなど、地域との連携を一層図る必要があると感じた。
- ・地域との関わりを活発にするには、学校側がきっかけをつくっていく。(茨城弁、放課後学習のサポート、花壇の整備、草取り、地域ゴミ拾い活動における地域への呼びかけ等)。

Bグループ発表(長谷川委員)

- ・児童が汗を流しながら元気に過ごしているのが素晴らしい。

- ・道路での遊びやほかの家の敷地内で遊ぶなどの話もあり、地域での過ごし方が心配である。
- ・児童の学習活動における地域のサポートが入れるようにしたい。その体制づくりを学校とともに考えていきたい。
- ・地域としては、学校の環境整備への協力（除草、花壇の整備やお世話など）ができる。
- ・家庭学習の習慣の確立に向けた手立てはないか。
- ・子どもたちを地域行事（お祭り等）に参加させるためには、学校と連携が必要である。（地域の間が子どもたちの顔を直接見ること、学校に対してサポートしていきたいという気持ちが高まるのではないか。）
- ・子どもたちの地域行事（カヌー体験）への参加の様子を見ると、荃一小の児童が少なかった。また、中学校の生徒は（新人戦と重なったため）ほとんどいなかった。（主催場所が原因の一つかもしれない）
- ・11月2日の地域行事（さつまいも掘り）には、ぜひたくさんの方の荃一小の子どもに参加してもらいたい。

## 6 その他

第3回高崎学園CS推進会議の開催について

令和7年2月5日(水)13時30分 会場：高崎中学校

## 7 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

令和6年度 第2回高崎学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和6年10月1日（火）

13：30～

場所：荃崎第一小学校 図工室

次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 授業参観
- 4 前回の議事の確認
- 5 協 議

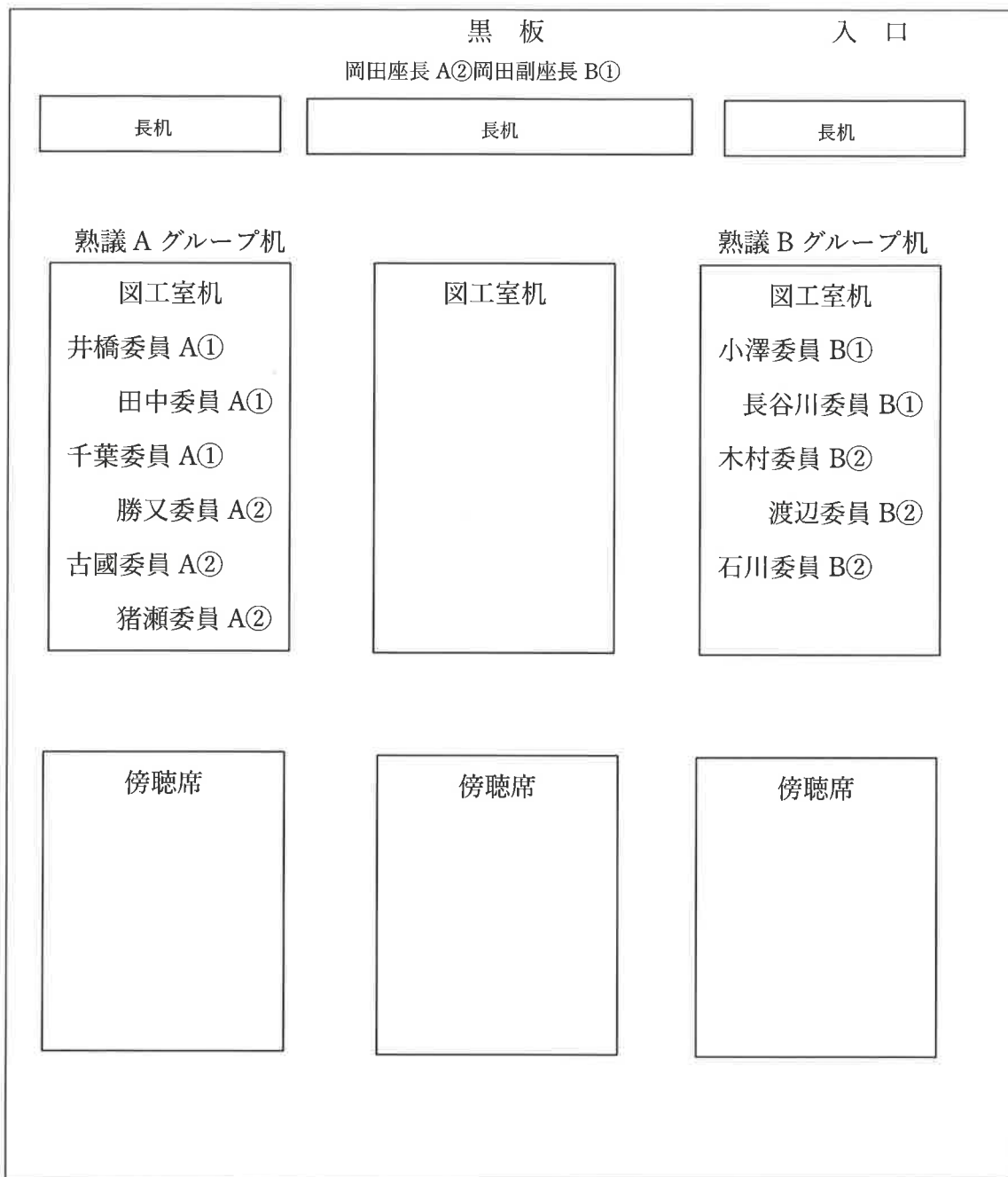
熟議

「地域とともに高崎学園が児童・生徒に身に付けさせたい力について～地域学校協働活動を進めるために～」

- 6 その他
  - ・ 諸連絡
- 7 閉 会

座席表

荖崎第一小学校 図工室 2



第2回高崎学園コミュニティスクール推進会議 日程表

1 日程

- 13:35～14:20 校内授業参観  
 14:20～14:25 休憩  
 14:30～15:25 熟議  
 15:25～15:30 所連絡

2 校内授業参観 (A・Bの2グループに分かれて参観)

時間	Aグループ	Bグループ
13:35～13:50	A①グループ…1年参観 A②グループ…2年参観	B①グループ…5年参観 B②グループ…6年参観
13:50～14:05	A①グループ…3年参観 A②グループ…4年参観	B①グループ…1年参観 B②グループ…2年参観
14:05～14:20	A①グループ…5年参観 A②グループ…6年参観	B①グループ…3年参観 B②グループ…4年参観
A①グループ…岡田座長、勝又委員、長谷川委員、古國委員		飯島係長
A②グループ…井橋委員、田中委員、猪瀬委員、千葉委員		村上社教主事
B①グループ…岡田副座長、小澤委員、		澤頭課長
B②グループ…木村委員、石川委員、渡辺委員		山口参事 酒井指導員

※太文字職員が誘導

※各グループ・番号ごとに学年フロアを自由参観し、誘導の指示に従って移動する

<児童を見る視点>

- ・学園グラウンドデザインの視点から見た児童の様子  
 高崎学園…自ら学習に取り組める児童・生徒  
     思いやりと協調性のある児童・生徒  
     心身ともにたくましく生きる児童・生徒
- ・熟議のテーマから見た児童の現状と課題
- ・地域連携学校活動の視点から、地域としてどのような支援ができるか

### 3 熟議

テーマ 地域とともに高崎学園が身に付けさせたい力について

～ 地域学校協働活動を進めるために ～

※校内授業参観をしたA・Bの2グループ内で協議

### 4 諸連絡

・第3回高崎学園コミュニティスクール推進会議について

・その他

<メモ・記録>

## 会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回高崎学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年6月3日（月）開会 14:30 閉会 16:00		
開催場所		つくば市立高崎中学校図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	渡辺峰子、石川 隆、田中雄輝、市原裕一郎 勝又みゆき、猪瀬奈保美、長谷川清恵 岡田克司、岡田良一 高崎中学校 校長 井橋憲一 教頭 木村文彦 教務主任 古國芳彦 荃崎第一小学校 校長 小澤光幸 教頭 三橋伸孝 教務主任 千葉直樹		
	その他			
	事務局	教育局次長：久保田靖彦 生涯学習推進課参事：山口健次 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上和宏 地域連携教育指導員：酒井和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				
議題		1 学校運営の基本方針について 2 各学校の教育活動の紹介 3 熟議「地域とともに高崎学園が育てたい児童生徒の姿について」 4 その他		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会	1 開会			



議 次 第	2	選任通知書交付
	3	教育長挨拶
	4	説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて
	5	座長・副座長の選出
	6	協議 (1) 学校運営の基本方針について (2) 学校の教育活動の紹介 (3) 熟議「地域とともに高崎学園が育てたい児童生徒の姿について」 (4) その他
	7	閉会

<審議内容>

1 開会

事務局：ただ今から、令和6年度 第1回 高崎学園コミュニティ・スクール推進会議を開会いたします。

はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。事務局案として高崎中学校古國芳彦先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

参加委員：お願いします。

事務局：お引き受けくださりありがとうございます。よろしく申し上げます。

2 選任通知書交付、

事務局：始めに「選任通知書」の交付をいたします。通知書の交付は五十音順で代表者1名とさせていただきます。なお、教育長の森田は本口、欠席となります。代わりまして教育局次長久保田靖彦が選任通知書の交付を行わせていただきます。

(「選任通知書」を石川委員に交付)

続きまして、地域学校協働活動推進員の御紹介と委嘱状の交付を行わせていただきます。

高崎学園で、学校と地域をつなぐパイプ役となる地域学校協働活動推進員を協議した際、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者として長谷川清恵委員が高崎学園から御推薦いただきました。地域学校協働活動推進員設置要項第3条に該当するものとして、「地域学校協働活動推進員」を委嘱させていただきます。

(「委嘱状」を長谷川委員に交付)

ありがとうございました。お席にお戻りください。

この推進会議は、協議会を設置するまでのおおむね1年間を予定しています。また、皆様の選任通知書については、机の上にございますので御確認ください。委員の皆様の自己紹介に関しては、この後お時間を取らせていただいております。御了承ください

### 3 教育長挨拶

事務局：続きまして、つくば市教育長森田から挨拶を預かっておりますので、教育局次長久保田が代読いたします。

事務局：森田教育長の挨拶を代読させていただきます。

本日はお忙しい中、第1回高崎学園コミュニティ・スクール推進会議に参加していただきありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては当推進会議の委員を快くお引き受け頂き、深く御礼申し上げます。

さて、近年の急激な社会の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化している状況があり、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。皆様にお配りしたつくば市教育大綱においても、「保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体でこどもの育ちの場を支える。」ことが、いま必要なこととされています。

こうした背景を踏まえ、つくば市では、「コミュニティ・スクール」を導入していくこととしました。「コミュニティ・スクール」は、学校と地域、保護者がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映することで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。また、学校を核とした交流を通して、地域の活性化を期待することもできます。

つくば市では、令和4年度に吾妻学園をモデル地域として先行的にコミュニティ・スクールを導入し、昨年度は8学園、今年度は新たに6学園で導入する計画です。その中で見えてきた課題としては、この仕組みをいかに地域に周知し、市民の方々の理解を得ていくかにあると思っております。そのため、教育局では、出前講座のメニューを新設するなど、「コミュニティ・スクール」の周知に努めているところです。

高崎学園においては、本年度よりコミュニティ・スクールの導入が始まります。皆様には、それぞれの立場から、子どもたちの未来のために何ができるか、意見を出し合っていたいただければと考えています。つくば市の教育のさらなる充実に向け、どうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

### 4 説明事項

事務局：社会教育主事の村上より「つくば市コミュニティ・スクールについて御説明させていただきます。

事務局：生涯学習推進課社会教育主事村上と申します。よろしく申し上げます。わたくしのほうからは、

- 1 つくば市の教育が目指すもの
- 2 コミュニティ・スクールとは
- 3 つくば市で進めるコミュニティ・スクールとは

について御説明いたします。

まず、つくば市の教育が目指すものについて御説明いたします  
配布されている教育大綱の冊子を手にとっていただき、1ページをお開きください。つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を送る、ことを最上位

の目標に設定しています。次に7ページをお開きください。いま必要なことの中に、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもたちの育ちの場を支えることを位置づけています。

教育大綱に基づいたコミュニティ・スクールの導入をすることにより、今後地域の多くの人々が学校づくりに参画し、地域と一体となり、地域とともにある学校づくりを進めて行きたいと考えています。つくば市の学校教育を所管している学び推進課からは、「学び推進方針」を学校に示しています。みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園にするために、今年度特に意識していることは、子どもたちの「自己決定」ができる環境を整えていくことです。また、学び推進課では「伴走から自走というスローガン」のもと、各学校が生き生きと自走していけるように日々関わっています。

続いて、コミュニティ・スクールについて御説明いたします。具体的にコミュニティ・スクールとはどのようなものを御説明いたします。コミュニティ・スクールとは、一言で言いますと地域とともに子どもを育む学校と言えます。コミュニティ・スクールのコミュニティは地域住民・保護者・学校であり、それらが、力を合わせて子どもたちの成長を支えていく学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいます。もっと踏み込んだ話をさせていただきますと、つくば市ではコミュニティ・スクール協議会という話し合いの場を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいます。

高崎学園は今年度、コミュニティ・スクール推進会議とって準備段階の会議を実施することになっています。来年度は協議会とって、法に位置付けられたコミュニティ・スクールの本格設置となります。

スライドでお示ししているのが、コミュニティ・スクール協議会の様子です。右上、校長先生が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明をしています。中段、下段の写真、熟議を行っています。

さて、それではなぜコミュニティ・スクールが必要なのでしょうか？

現在、学校では、「いじめ、不登校」、「教員の業務量増加」、地域では、「地域社会における支え合いやつながりの希薄化」など、様々な課題が挙げられます。また、新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有することが大切であると書かれています。これらのことから、学校と地域の課題を解決するために、学校と社会が目標を共有したり、地域と学校が連携して幅広い視点で子どもたちの成長を支えたりする必要があるのです。

それでは、具体的につくば市で進めるコミュニティ・スクールについて御説明いたします。つくば市コミュニティ・スクールには、スライドでお示している4つの機能があります。

①の機能として、学校運営の基本方針についての承認があります。学校運営協議会では第1回目に学園長・学校長が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明を行います。

その基本方針に対して委員の皆様から承認を行うことから学校運営協議会がスタートしていきます。ただし、学校運営の責任者は校長であり、学校運営協

議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

②の機能としては、学校運営に意見を述べるができるということです。これから始まる学校運営協議会では、皆さんの様々な視点から御意見を頂ければと思っています。

③の機能として教職員の任用について意見を述べるができます。教職員の任用とは、学校とコミュニティ・スクール協議会が実現しようとする教育目標等に適った人材を求めることです。例えば、学年主任ができるリーダー性のある教員や外国語活動に力を入れたいので、授業力のある教員求めることなどです。

④の機能として学校評価があります。委員の皆様と学校の課題について共有したり学校評価について話し合ったりということをしていきます。現在、高崎学園はコミュニティ・スクール推進会議という準備段階の会議となりますが、来年度には協議会という法に基づいた本格設置となります。委員の立場としても特別職の地方公務員となり、スライドにお示ししているような責任のある立場となっていくので、御協力をお願いいたします。

先ほど、「熟議」という言葉が出てきましたので、「熟議」について御説明いたします。「熟議」とは、どのような子どもを育てたいのか。何を実現したいのか。という目標・ビジョンを共有するために、「熟慮」と「議論」を重ねることを言います。ひとことで言うと「よくよく、話し合う」ということです。熟議では、テーマに対して、委員それぞれの考えを付箋に記し、模造紙に貼り付けていくというスタイルが多いです。熟議に参加する委員の方が、必ず意見を会議に反映してほしいという意図のもとこのようなスタイルをとっています。

スライドでお示ししているのは、コミュニティ・スクールを自転車に例えたイメージ図です。自転車で例えるならば、協議会で話し合った内容が前輪及びハンドルとなり、「育てたい児童・生徒像」やコミュニティ・スクールの在り方などの方向性を決める役割を担っています。そして後輪には、地域学校協働活動が位置付けられます。地域学校協働活動とは、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことです。コミュニティ・スクールでは、前輪の協議会で方向性が決まったものに対して、それを後押しするように地域と学校が連携して様々な活動を行っていきます。学校の教育活動に対して地域学校協働活動を進めていくことで、この自転車がスムーズに進むようになります。自転車がスムーズに進むようになるときは、今まで以上に学校と地域が連携し、学校を核とした地域づくりにつながっていくはずです。

地域学校協働活動の例を一つ御紹介いたします。昨年度、吾妻学園では、「ようこそ先輩」という学習において、ゲストティーチャーを地域学校協働活動推進員の方がコーディネートした授業を行いました。このように、地域学校協働活動が活発になると、地域の方々のかかわりが、児童生徒の幅広い視野をもつことにつながります。また、地域の方々とかかわることで、学校で学んでいることが社会でどのように役立っているかを理解することにもつながります。新しいことをやらなくてもよい運営協議会の中で、何が必要か、何をしていくべ

きか、地域と学校が熟議し、ともに作り上げていくこと大切です。既存のものをベースに、まずは、「学校理解」「地域理解」から進めていければと思います。

今日お伝えしたいことをまとめます。

- ①つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を最上位の目標としていること
- ②コミュニティ・スクールは地域とともに子どもを育てる仕組みであること
- ③つくば市のコミュニティ・スクールには4つの機能・役割があること
- ④熟議を通して皆が共有することが大切であるということ
- ⑤地域と学校が連携した様々な活動、地域学校協働活動が始まることです。

つくばの未来の創り手となる子どもたちのために御協力をよろしくお願いいたします。

以上になります。

事務局：ただ今の件につきまして、意見や質問はありますか。

\*質問なし

## 5 座長・副座長の選出

事務局：協議の前に、座長と副座長の選出を行いたいと思います。選出につきましては、令和6年度つくば市コミュニティ・スクール推進会議開催要項第6条第2項に「座長及び副座長は、構成員の互選によって定める」とあります。本年度については、コミュニティ・スクールを立ち上げていくということもあり、各校と教育局で協議の上、座長、副座長につきまして提案させていただきたいと思います。皆様いかがでしょうか。

事務局としては、手代木中学校で校長先生として尽力されてきた岡田克司委員に座長を、副座長は、高崎中学校で校長先生として尽力されてきた岡田良一委員に願

いしたいと思いますがいかがでしょうか。

参加委員：（拍手）

## 6 協議

### (1) 学校運営の基本方針について

岡田克司座長：それでは、各学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明及びグランドデザインを受けての特色ある教育活動について、各学校より御説明をお願いします。

高崎学園長(井橋校長)：高崎学園・高崎中学校グランドデザインの説明

#### ①高崎学園のグランドデザインの説明

令和6年度の高崎学園目標「ともに学び、心豊かに新時代をたくましく生きる社会力をもった子どもの育成」としました。ここ高崎学園は一小一中であり、小学校1年生から中学校9年生まで同じ地域で育つ児童生徒がほとんどです。

そのような環境にある子どもたちにとって、ともに学び合うことは大切です。

そして、ともに学び合う関係づくりには心が豊かであることも必要です。また、いつの時代においても、くじけたり躓いたり子どもたちには様々な困難な場面が訪れることが予想されます。そのような時にたくましく生き抜いていく力を育成することが不可欠です。子どもたちはこれから予測困難で変化が激しい新しい時代を生きていくのですから、その新時代を見据え、ともに学び、心豊かに新時代をたくましく生きる社会力をもった子どもを育てたいと思いこのような学園目標を設定しました。児童生徒像としましては、「自ら学習に取り組める児童生徒」、「思いやりと協調性のある児童生徒」、「心身ともにたくましく生きる児童生徒」を目指す児童生徒像として掲げています。

続きまして関連するところも多いものですから、中学校のグランドデザインの説明とともに御説明させていただきます。つくば市立高崎中学校のグランドデザインを御覧ください。先ほど申し上げました学園目標を受け、高崎中学校の学校教育目標を、「自学・自律の心を育て、社会に貢献できる生徒の育成」としました。私の学校経営方針は、「学校は生徒が主役」、「教師は授業で勝負」です。御承知のように、生徒が学校で過ごす時間のほとんどが授業です。その授業を核とした学校教育活動全体を通して、生徒一人一人が幸せを実感できる学校にしたいと思っています。そこで、今年度の組織目標を「授業を通して関わり合い、学び合う学習集団を育てる」と「互いのよさを認め合い、高め合う集団をつくる」の二つとし、「確かな学力の育成」、「心の教育の充実」、「健康・安全・防災教育の充実」、「信頼される学校づくり」の4つの柱にそった学校教育活動を重点に置いて9年間を見通した学力補償と安心・安全・信頼される学校づくりに努めてまいります。

## ② 荃崎第一小学校（小澤校長）：荃崎第一小学校グランドデザインの説明

私の経営方針は、「笑顔あふれる荃崎第一小学校」という学校をつくっていきたいと思い4月に職員に話をしてきました。職員一人ひとりが個人の目標各担任としての目標等を設定するにあたっての単年度の組織目標としまして、「自ら考え、伝え合う子を育み、高め合う授業づくり」、「自他のよさを認め合い笑顔あふれる学級・学年づくり」としました。学園のグランドデザインとのリンクを合わせて考えたときに一番とらえやすいのは、「授業づくり」と「学級づくり」となるだろうということで、「授業づくり」と「学級学年づくり」を大きな柱での組織目標とさせていただきました。では、どのような授業なのかというと、自ら考え、伝え合う子を育む。そして、それが高め合うような形の授業展開。それを、全学年、全学級全体でという話をしました。学級・学年づくりはというと、自他のよさを認め合い笑顔あふれるということを考えてくださいということです。日本の子どもたちは自己肯定感が低いと言われて久しいです。そういうこともありまして、それぞれのよさを認め合い、友達のよさだけでなく、自分のよさも分かるような形の学級学年経営をお願いしますということです。では、どのように進めていくかということですけれど、授業においても、自己肯定感の向上ということについても我々教職員が、意図的に場の設定をする

ということです。第一小学校としましては、中学校へ行くためのそして学園のグランドデザインにあるとおり、この椎の木のようにしっかりと足元を固め大きく伸びていく、「ともに学び、心豊かに新時代をたくましく生きる社会力をもった子どもの育成」の本当に第一段階、基礎というところに重きを置いて6年間がんばりたいと思います。そして、次の3年間の中学校につなごうということやっております。

岡田座長：お二人の校長先生、ありがとうございます。この後、教務主任の先生方に、学校や児童生徒の様子、特色ある教育活動や地域と共同・連携した教育活動等についてご説明をお願いいたします。

## (2) 学校の教育活動の紹介

### ① 荃崎第一小学校(千葉教務主任)：高崎学園としての取組みの説明

私より学園としての取組みの部分として簡単ではありますが、御説明させていただきます。年度当初の学園研修ということで、「自ら考え、伝え合い、表現できる児童生徒の育成」について、今年度も職員での研修をスタートしてまいります。大きな研究主題に対し、それぞれの目指す児童生徒像を1年生から4年生、5年生から7年生、8・9年生という3つのブロックごとに設定をしましてその達成のために授業の研究、改革に取り組んでいます。特に昨年度につきましては、令和4年度、令和5年度につくば市の研究指定を受けたこともありまして、子どもたちの学力向上に向けて、特に小・中学校で、今ほどの研究主題を意識しながら取り組んできたところでありまして、これがその時の様子であります(大型モニターで写真を提示)。次に具体的な教職員間の交流について御説明させていただきます。モニターを御覧ください。こちらにつきましても昨年度になりますが、学園研修の中で教育委員会の指導主事の先生方をお招きしまして、要請訪問というものを行いました。具体的には、小学校の教諭また中学校の教諭の方で先程の研究主題を実現するために、子どもたちの学びの場をしっかりと準備したなかで子どもたちの活動として、しっかりと学びの場をつくりながら、いかにして学力の定着を図るかということで行ってまいりました。こちらがその要請訪問の中で、職員の中で同じように交流しながら学力向上に向けてのそれぞれの授業について、意見を交換している場面になります(大型モニターで写真を提示)。こちらも同じように、それぞれの部会ごとに分かれまして、先生方の中で意見交流をしている様子であります(大型モニターで写真を提示)。また、8月には同じように学園研修として小学校中学校の先生方が集まって、いろいろな意見交換を行っています。この時は、スクールカウンセラーの先生によるアンガーマネジメント研修を実施しました。今年度もまだ大きなテーマ等については未定であります。8月に学園研修を実施する予定です。こちらが昨年11月に研究発表会を行ったときの様子になります。荃崎第一小学校の方に中学生も、中学校の先生方も集まっていたので小学校の方で公開授業を実施しました(大型モニターで写真を提示)。子どもたちの活動の様子の一部となります。続きまして学園若手研修となります。こちらにつき

ましては、学園内の初任の先生から3年までの先生方が集まって、授業実践を行い、そのことに協議を行っている様子です。講師は、学園の中での中堅教員の方が務めることになっております。今年度も今ほどの実践をもとに、それぞれの学校で学力向上に向けて行っておりますので、よろしくお願いします。

高崎中学校(古國教務主任)：小中交流と地域との連携の説明

私の方からは、高崎学園の小中一貫の交流の部分をまず、説明させていただきます。まず、最初に荃崎第一小学校で高崎中学校の吹奏楽部と箏曲部の二つの部活動が演奏会を昨年度行いました。6月15日でしたので、つくば市の総合体育大会が行われていた時です。そのタイミングで、演奏を行いました。こちらが、その写真となっております(大型モニターで写真を提示)。また、小中連携のあいさつ運動です。こちらは、12月に行いました(大型モニターで写真を提示)。荃崎第一小学校に本校の生徒が参加してあいさつ運動を行いました。また、今年度の2月、今度入ってくる新7年生が高崎中に来まして、中学校での体験授業というものを行いました(大型モニターで写真を提示)。「中学校の授業ってどうなのかな？」とドキドキしながら6年生の児童が来て、授業の中で笑ったりとか一生懸命授業に取り組んだりとか、とても良い時間を過ごすことができました。こちらはその時の様子です(大型モニターで写真を提示)。こちらは理科の実験になります。コロナが流行した時に、どうしても交流というのがちょっと減ってきてしまっているところがありました。令和5年度少しずつ増やしていったところがありますので、令和6年度学園研修を通してどういうことができるのかを話し合っただけでさらにバージョンアップできるようにしていければと思います。やはり、小中交流の良さは、小学生が中学生になることに見通しをもてるということ、それから中学生になることへの、「中学生ってあんなにかっこいいんだ」という姿を見ることで、憧れ、それから楽しみというものももてるようになります。また、中学生にいろいろと手伝ってもらうことで感謝の心、こちらの方も育つことができるのではないかと思います。そして、中学生にとってこの小中一貫の交流のよさというのは、やはり小さい子と接することによる思いやりの心が育ちます。中学生になると悩みが多くて不安定になるところもあるのですが、そういう中学生がすごい笑顔で小学生に接しているのを見るとやはり、小中一貫のよさを感じることができます。

そして、いろいろ助けてあげるといって、人のためになっているところから、自己有用感の向上にもつながっております。そういう中で、中学生も豊かな人間性の向上の一助になると思います。

最後に地域との連携ということなのですが、この高崎地区というのは、本当に地域とのつながりが強いというのを感じております。今日ですね、「青少年を育てるつくば市民の会」の方がいらっしやいまして、朝のあいさつ運動を行っていただきました。また、昨年度ですと、「防災会議」というものがありまして、消防署の方、それからPTA、それから区長さんにも集まっていただき、防災についての話し合い等をしてきました。様々なところで、地域の方々に支えられております。今年度も、さらに地域の力で支えていただければと思います。



よろしくお願いいたします。以上になります。

岡田座長：ありがとうございました。何か御意見や御質問はありますか。

(市原委員)

高崎中 PTA 副会長の市原です。グランドデザインの御説明をいただきました。キーワードとしては、新時代をたくましく生きるとか、未来を切り拓くという形でこれからの新時代のテーマが載っていました。情報化社会から仮想空間と現実社会の一体社会という形で Society 5.0 というような社会のことを指しているのかなと思うのですが、そういったところで人工知能を使った学習ですか情報の取捨選択の取組みなど、視野に入れておられるのかというところが気になったところでした。

(井橋校長)

はい。ありがとうございます。つくば市の方から一人一台端末を支給していただき、全部の児童生徒がこの端末を使った学習を進めています。特に情報の取捨選択については、情報モラル教育や情報が本当に正しいかどうかという、そういうところも含めて授業の中で取り組んでいる内容ではあります。ただ、まだ、AI 授業については先進的な取組みとしてつくば市内でみどりの学園等がやっている事例はあるのですが、本校ではまだ、そこまで取り入れた授業は実施しておりません。できれば、AI を取り入れた授業づくりを進める上で、地域の方にレクチャーしていただけるような方がいたら、すごくありがたいなという風に思っているところです。先進事例については、昨年度、みどりの学園の研究発表会に参加しまして、小学校1年生からAIを使っていることを知り、驚いたぐらいです。ですから、本校でまだ取り入れられていない部分があるので、ぜひ取り入れられるところから取り入れたいと考えていますが、まだ先生方のスキルや活用の方法も定まっていないところなので、ぜひ御教示いただければと思います。よろしくお願いいたします。

岡田座長：ありがとうございます。小澤校長先生、いかがですか。

(小澤校長)

はい。小学校ですと、それこそ情報教育の基礎の基礎で「うかつに手を出してしまつては危ないよ」という危険性というものを小さいうちから教えていきながら、その中でさらに経験を積ませることです。危険だよと言って止めてしまうのではなくて、幼い子が熱いヤカンを触って、その熱さを知り自分で学ぶ、それに近いような形のものでできれば良いなと思っているところです。触らせる危険性というのが、小学校ですと、本当に大やけどしてしまう可能性もありますので、それこそ専門家の方と時間をかけた上での指導という風にもっていくと良いと感じています。ですから、現時点としてはちょっと、井橋校長が話したとおり、本学園としては、本格的なスタートは切れていないというところ

です。

(市原委員)

どうもありがとうございました。イーロン・マスクという人が、AIができて、「グッバイ、ホームワーク」とつぶやいたりしていて、そういった方向性もありますけど、ある意味もうタブー視はせずに、積極活用の方向にすべきだと思いますし、SNSなどの利用方法に関しましても、炎上事例だったりとかトラブルに巻き込まれた事例など、私も普段家庭で子どもと話すときはそういう話をしたりするのですけれども、学校も家庭も地域も一体となってというコミュニティ・スクールのテーマですから、そういった形で、「新時代」といテーマに踏み込んでいくのも大切であるなと感じました。ありがとうございました。

岡田座長：ありがとうございました。学校が大きく変わっている。その大きく変わるひとつの側面ですので、これから話題にしていくところです。関連して何か御質問はありますか。別の視点で何か御質問ありましたらお願いします。せっかくの機会ですので、いかがでしょう。よろしいですか。

(長谷川委員)

新時代の素敵なお話の後に、素朴な話ですけど、先ほど見てた6年生が2月に中学校に来て授業を受けるという、私たちにはなじみのあるものなのですが、他の学園ではどのようになっているのでしょうか。同じようなことをされているのでしょうか。それをちょっと疑問に思いました。

(久保田次長)

学校の形態によって多少違います。もちろん、義務教育学校という形で9年間同じ校舎で過ごす学校については、年に1回ということではなく、複数回双方の教室に行ったり、特に高学年の生徒が低学年の授業のお手伝いをしたりするという光景は、たくさんございます。実際のつくば市の小中一貫教育、全学園でやっていますけれども、高崎中学、荃崎第一小学校のように一小一中でやっているところは、高崎学園と吾妻学園だけなのですね。その他というところというのは、一中三小であったり四小であったりという形になります。コロナ前は実は交流というのは結構ありました。どちらかの学校に出かけたり、中学校に集まったりということがあったのですが、コロナの2年間3年間でやはり大きく変換しまして、実際に今現在そこまでできているところというのは、そう多くはないのではないかなという風に思っています。高崎学園の場合は、通学のエリアも一緒ですので、しかも学校が物理的に近いという条件もございます。比較的やりやすい地域であると思っていますし、先生方から発表があった去年の研究発表もですね、高崎中の生徒が荃崎第一小の教室を使って授業をやっていたような、事例もございますので、その辺は、他の地域に比べると比較的地理的な優位性も高いので実施できているところはあるのかなと思っています。

(長谷川委員) ありがとうございます。

岡田座長：ありがとうございます。一小一中という、好条件ですので、進め方によっては、教育効果が上がっていくだろうと思います。他に御質問はありますでしょうか。

先ほど教育局から説明がありましたように、コミュニティ・スクール協議会の機能の一つに、「校長が作成する学校運営の基本方針の承認」があります。これを踏まえて、この推進会議においても、委員の皆様にご賛同への御賛同をお願いしたいと思います。令和6年度学園・各校のグランドデザインに御賛同いただける方は拍手をお願いいたします。

参加委員：(拍手)

岡田座長：ありがとうございます。校長先生方におかれましては、本内容にて学校運営を進めていただければと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

### (3) 熟議「地域とともに高崎学園が育てたい児童生徒の姿について」

岡田座長：では、次に移ります。熟議について、ファシリテーターを高崎中学校の木村文彦教頭先生をお願いしてよろしいでしょうか。

木村教頭：(承認)

高崎中学校教頭の木村と申します。よろしくをお願いいたします。では、この後は熟議ということなのですが、共有することが大事ですということがあったかと思しますので、話合いの状況を見て、時間の方を声かけさせていただきたいと思っております。後半に各グループで熟議を交わしていただいたことに関して、発表していただくという形をとっていきたいと思っております。まず、テーマの確認です「地域とともに高崎学園が育てたい児童生徒の姿について」というテーマで熟議を進めていきたくと思っておりますが、グループは、今座席を小学校、中学校に分けてありますので、この二グループで熟議の方を進めていくという形をとっていきたくと思っております。ワークシートを用意しました。そちらを、見ていただいて項目に沿って話を進めていただきたいと思います。

- ・各グループでの熟議 27 分間

#### 小学校グループ

- ・とにかく素直な子が多い。おおらかで元気な子たちが多い。
- ・学力向上の部分に課題、素直な子どもであるが故に何でも信じちゃうところが心配。
- ・社会の変化に伴って地域とのつながりという部分が薄くなりつつある。

- ・開かれた学校、積極的な地域との関わり、行事での交流や学校に来ていただけるような場を設けることが大切。
- ・荃崎音頭のような盆踊りで地域との関わりをつくっていきけるのでは。

#### 中学校グループ

- ・あいさつがすばらしい。9年間素直に成長している。
- ・自分の気持ちを上手に伝える力も、関わり合いをとおして育てたい。
- ・高崎地区は地域の方々が支えてくれている場所。
- ・地域の方々は学校に協力したがつているので、学校側が地域に協力してほしいことを上手に発信する必要がある。
- ・地域の企業の方々に出前授業などをお願いしていきたい。

#### (木村教頭)

はい。ありがとうございました。それでは2グループ小中発表してもらいました。今日これで完結というわけではなく、短い時間ですので、そこで「じゃあ、こうしていこう」というところまでは、見出すことはできませんけれども、いろいろと情報の共有ができたかなと思われます。これから実現に向けて、少しずつ交流・共有を生かしながらということを進めていけるような形をとれると良いと思います。

#### (4) その他

岡田座長：それでは熟議が終わりましたので、まとめになりますが、皆さまから何かありましたら、御意見があればお願いいたします。

では、次回の開催について、木村教頭先生からお願いします。

#### (木村教頭)

はい。それではお疲れ様です。本年度、年3回の推進会議を予定しております。次回ですけれども、令和6年10月1日火曜日、13時30分から今度は荃崎第一小学校で開催を予定しております。第3回に関しては、令和7年に入って2月4日火曜日、時間は13時30分から、中学校でということで開催を予定しております。詳細については、追ってご連絡いたしますのでよろしく願いいたします。以上です。

岡田座長：ありがとうございました。以上終わりにしたいと思います。御協力、ありがとうございました。スムーズに終わることができました。進行の方、事務局にお返ししたいと思います。

事務局：岡田座長、協議進行、ありがとうございました。本日の会議の内容は以上となります。

7 閉会

以上をもちまして、令和6年度 第1回 高崎学園コミュニティ・スクール  
推進会議を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうご  
ざいました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。